

事業の実施方法

事業名：特定災害復旧事業 稲舟地区 地すべり対策技術検討その3 業務委託事業
会社名：〇〇〇〇

【注意事項】

- 応募要領に記載された事業内容ごとに、実施方針、実施方法等を具体的に記入する。
- 記入は、A4用紙5ページ以内とし、業務内容を勘案し必要最小限とする。

工程計画

事業名：特定災害復旧事業 稲舟地区 地すべり対策技術検討その3業務委託事業
会社名：〇〇〇〇

項目	委託事業工程						備考
	月	月	月	月	月	月	
(例)							
1. 準備計画							
2. 現地調査							
3. 〇〇の検討							
4. 〇〇の検討							
5. 〇〇の検討							
6. 報告書作成							
7. 打合せ							

【注意事項】

- 当該事業を遂行する上での工程表（作業スケジュール）を作成する。
- 項目は、業務内容に応じて記載する。
- 必要に応じ、フロー図等の記入も可。
- 記入は、工程表・フロー図等を併せ、A4用紙2ページ以内とする。

事業の実施体制

事業名：特定災害復旧事業 稲舟地区 地すべり対策技術検討その3業務委託事業
会社名：〇〇〇〇

(1) 事業実施体系図

<p>【注意事項】 組織全体の中で担当部署の位置を明示</p>
--

(2) 本事業に携わる担当者

氏名	所属・役職	所有技術資格	CPD取得単位	担当する分担業務の内容	過去5年間の類似事業の実績

【注意事項】

- 記入は、(1) (2) 併せてA4用紙4ページ以内とする。
- 氏名には「ふりがな」をふること。
- 所属・役職については、企画提案書の提出者以外の企業等に所属する場合は、企業名等も記載すること。
- 資格には、資格の種類、部門(選択科目)を記載すること。
- CPD取得単位は、技術者継続教育機構が承認したものとする。
- 過去5年間とは、前年度より過去5ヵ年度とし、当該年度は含めない。
- 類似事業の実績には、発注機関、業務名、履行期間、担当業務の役割を記載すること。
なお、記載した実績が証明できる業務カルテ、契約書等の写しを添付すること。
- 類似事業とは国又は地方公共団体が実施する、事業・調査等の技術検討に係る委員会、各種イベントの企画・運営、シンポジウム等会議の企画・運営とする。

ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標についての適合状況

事業名：特定災害復旧事業 稲舟地区 地すべり対策技術検討その3業務委託事業
会社名：〇〇〇〇

1 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等

- 「えるぼし1段階目」の認定を取得している。 【 該当 ・ 該当しない 】
- 「えるぼし2段階目」の認定を取得している。 【 該当 ・ 該当しない 】
- 「えるぼし3段階目」の認定を取得している。 【 該当 ・ 該当しない 】
- 「プラチナえるぼし」の認定を取得している。 【 該当 ・ 該当しない 】
- 一般事業主行動計画（計画期間が満了していないものに限る。）を策定・届出をしてお
り、かつ、常時雇用する労働者が100人以下である。 【 該当 ・ 該当しない 】

2 次世代育成支援対策推進法に基づく認定

- 「くるみん認定」を取得している。 【 該当 ・ 該当しない 】
- 「トライくるみん認定」を取得している。 【 該当 ・ 該当しない 】
- 「プラチナくるみん認定」を取得している。 【 該当 ・ 該当しない 】

3 若者雇用促進法に基づく認定

- 若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール認定）を取得している。 【 該当 ・ 該当しない 】

※ 1～3の全項目について、該当するものに○を付けること。

※ それぞれ、該当することを証明する書類（認定通知書の写し・一般事業主行動計画策定
・変更届（都道府県労働局の受領印付）の写し）を添付すること。